

奥琵琶湖の自然と暮らしをめぐる旅

関西広域連合では、関西地域における生物多様性保全上重要な地域を「関西の活かしたい自然エリア」として選定しています。この自然エリアは23エリアあり、構成自治体の境を越えて生物多様性に係る地域の自然的・文化的資源(以下「地域資源」という。)の情報共有を図るとともに、エコツアーの推進等を通じて地域資源の保全・活用や生態系サービスの維持・向上を図っています。

この取組の一つとして、今年度は滋賀県の奥琵琶湖を対象に2つの地域をめくり、エコツアーを通じた地域資源の保全・活用について学び考える体験学習を企画しました。この体験学習は、豊かな自然や暮らし、地域がかかえる課題や保全活動などを地元関係者(地元ガイド)に直に解説いただく体験を通して、地域資源に対する気づきや理解を得るとともに、その保全やエコツアーの在り方を考えていくことを目的に行います。ぜひご参加ください。

【日時】2022年(令和4年)11月27日(日) 9:00-17:00
(小雨決行。雨天等により中止の場合は、前日に連絡します。)

【行程】午前:「山門水源の森」

滋賀県長浜市西浅井町山門にあり、かつては薪炭林として利用されていた里山です。県内最大級の湿原や冷温帯性ブナと暖帯性アカガシが混生する森林など、特徴ある生態系が広がっています。生物多様性保全の活動が熱心に行われており、活動の実際も解説いただきます。

- ガイド:山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会
- 集合:湖西線/北陸本線「近江塩津駅」→(バス移動)→山門水源の森ガイドツアー(約3時間)→昼食→(バス移動)



午後:「針江生水の郷」

滋賀県高島市新旭町の針江という集落をめぐる。ここには比良山系に降った雪や雨が伏流水となり湧き出し、この水を家庭の飲料や炊事などに利用する川端(かばた)という水の文化があります。今回は複数のかばたをめぐり、水とともにある暮らしを解説いただきます。

- ガイド:針江生水の郷委員会
- 針江生水の郷ガイドツアー(約1.5時間)→(バス移動)→振り返りの会(約1時間)→解散:湖西線「新旭駅」



【募集人数】20名

【対象】学生、旅行者、企業や自治体の研修企画者等

【参加費】3,000円(税込み)

※参加費は体験と食事の実費分として、現地のガイド料(¥1,000×2ヶ所)、昼食代(¥1,000)を含みます。参加費は現地で徴収いたします。
※万が一に備え、レクリエーション保険に入ります。
※訪問地間の移動用に大型観光バスをご用意します。

【持ち物など】飲み物、山歩きができる靴・服装、雨具(必要に応じて)

【申込方法】下記 URL または右下の QR コードよりお申込みください。

<https://forms.gle/U8fVZgiencXGcxGv7>



- 事業実施者の問合せ先
関西広域連合広域環境保全局(滋賀県自然環境保全課)
Tel: 077-528-3483(担当:川口)
- 事業内容等に関する問合せ先
株式会社地域環境計画(担当:根岸・上村)
Tel: 072-684-3182 E-mail: ecotour22@chiikan.co.jp



申込締切(先着順)
11月15日(火)